

平成27年10月3日「土」―11月30日「月」

特別展 家元に伝わる茶の湯の道具(三)

表千家歴代 ゆかりの 床を飾る道具



平成27年 表千家北山会館 特別展
 家元に伝わる茶の湯の道具(三)

表千家歴代 ゆかりの 床を飾る道具

本年の特別展は、「家元に伝わる茶の湯の道具」シリーズの第三回として「表千家歴代ゆかりの床を飾る道具」を開催します。利休の道統を継ぐ表千家不審菴に伝来してきた茶の湯の道具のなかで、床を飾る道具に焦点をあて、歴代家元の茶風とその歴史的背景、道具にまつわる物語をたずねます。



図版解説

〔表面〕

家元 不審菴の床

掛物Ⅱ 一山 寧墨跡 沢庵・清巖加筆

花入Ⅱ 利休所持 高麗筒

利休は、いつも高麗筒の花入を四畳半の床の柱に掛けていた。そして、「この筒花入と鉢開の黒茶碗、墨跡があれば、山居してもさみしくはあるまい」と語ったと伝えられる。



〔裏面〕

1Ⅱ 利休所持 茶壺 銘 橋立

利休が大切に所持した呂宋の茶壺で、底には利休の花押がある。豊臣秀吉から懇望されたが譲らず、大徳寺の聚光院に預けることを記した利休の書状が添う。

2Ⅱ 覚々齋好 手付置籠花入

3Ⅱ 紀州徳川家より了々齋拝領 時代竹虎蒔絵視箱

表千家不審菴に伝来する約60点の道具が展覧されます。会期中、一部展示替えをいたします。



茶の湯文化にふれる市民講座

特別展の会期中、「床を飾る道具」をテーマとして、3回の市民講座を開催します。

10月17日〔土〕

林屋晴三氏（東京国立博物館名誉館員）

〔利休居士の床の間の道具〕

10月24日〔土〕

栗崎昇氏（花師・飾花の会（主宰））

〔名残の茶心 花心〕

11月21日〔土〕

木下收氏（北村美術館館長）

〔お床拝見―花 花入 そのまわり―〕

◎時間Ⅱ 午後2時―4時（講座の受付は正午から）

◎定員Ⅱ 200人（1回）

◎参加費Ⅱ 10月17日 2,000円

10月24日 5,000円（栗崎氏の飾花の実演と藤舎氏の笛の演奏）

11月21日 2,000円

各回とも当日の特別展見学並びに呈茶を含む

* 電話で事前申し込みが必要（先着順）

電話 075・724・8000

◎主催Ⅱ 表千家北山会館／京都新聞
 ◎後援Ⅱ 京都府／京都市／京都府教育委員会／京都市教育委員会／京都市内博物館施設連絡協議会
 ◎休館日Ⅱ 10月13日〔火〕、10月19日〔月〕、10月26日〔日〕、11月2日〔日〕、11月24日〔火〕
 ◎開館時間Ⅱ 午前9時30分―午後4時30分（入館は午後4時まで／但し、10月23日を除く毎週金曜日、および10月17日、11月21日は午後7時まで）
 ◎入館料Ⅱ 一般800円／同門会員600円（会員割引）／団体（20人以上）お一人600円／大学生・高校生600円／中学生以下は無料＊入館料には呈茶を含みます



〒603-8054
 京都市北区上賀茂桜井町61
 電話 075・724・8000
<http://www.kitayamakaikan.jp>

▼JR「京都駅」よりⅡ
 地下鉄烏丸線国際会館行「北山駅」下車、4番出口を西へ徒歩約5分
 ▼阪急電車「烏丸駅」よりⅡ
 地下鉄烏丸線乗り換え「北山駅」下車
 ▼京阪電車「三条駅」よりⅡ
 地下鉄東西線乗り換え
 「烏丸御池駅」乗り継ぎ「北山駅」下車

表千家北山会館